

第2日 1月26日(土) 午後部

(18) 学力向上部会	部会テーマ	子どもたちの学力向上に向けてできること		
内 容	子どもたちが確かな学力を身に付け、自らの人生を切り拓くとともに、これからの社会の担い手として活躍するために、学校にできること、教育委員会にできること、それぞれの立場から学力向上に向けてどのような取組をしていけばよいのかを考える。			
司 会 者	佐野市教育センター	木村 佳弘		
記 録 係	総合教育センター	中條 康雄	企画・会場係	総合教育センター 岩瀬英二郎

実践発表 1

主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善

総合教育センター研究調査部 高橋 徹

当センター研究調査部では、平成29・30年度に「主体的・対話的で深い学び」に関する調査研究に取り組んだ。本年度は、昨年度の調査研究を基に、授業改善の視点からの授業づくりについて研究した。その概要と授業実践事例を紹介する。

実践発表 2

子どもたちの学力向上に向けてできること

～多層指導モデルMIMの取組と教育委員会の役割～

鹿沼市総合教育研究所

鹿沼市教育委員会事務局学校教育課指導係 雉嶋 邦彦

鹿沼市では平成29年度に『鹿沼市教育ビジョン基本計画Ⅱ期』を策定し、「学力の充実と向上」を基本施策の一つに掲げている。その具体的な事業の一つが「MIMの推進」である。この事業に対する取組と教育委員会の役割について紹介する。

実践発表 3

本県の学力向上に向けた取組について

県教委事務局学校教育課学力向上推進室 上野 達也

〃 須藤 浩之

〃 小林 律子

とちぎっ子学習状況調査や全国学力・学習状況調査等の結果を活用して、自校の実態に応じた検証改善サイクルを確実に構築・運用している実践事例をもとに、学力向上に向けた効果的な取組について提案する。